高槻市文化財調査概要31

嶋上遺跡群28

2004

高槻市教育委員会

嶋上遺跡群28

はしがき

高槻市におきましては、市内各所での個人住宅建設や史跡の整備にあたり、埋蔵文化財の調査を積み重ねてまいりました。

個人住宅建設に関わっては、小規模な調査が多数を占めておりますが、それら成果の蓄積は、本市における各遺跡の広がりや内容を正確に把握するための重要な基礎資料となっております。

史跡整備に関わっては、史跡今城塚古墳におきまして、第7次規模確認調査を実施し、くびれ部の位置を確定するとともに、造出が南北両側に築かれていたことや、後円部で葺石と排水溝をあらたに検出するなど、整備にむけて重要な知見を得ることができました。一方、これまでに埴輪祭祀場から出土した埴輪群につきましては、最新の復元成果を一堂に会した展覧会を開催するなど、文化財の保護・啓発にむけた動きも活発になってまいりました。

また、史跡闘鶏山古墳におきましては、第2次規模確認調査を実施し、墳頂部の形状と主体部の埋葬方法を知る重要な資料を得ることができました。古墳をとりまく環境の総合的な調査にもあらたに着手しており、この貴重な歴史遺産の保存と公開にむけて基礎資料を蓄積してまいります。

最後に、本書をまとめるにあたり、ご教示やご協力いただいた関係機関をはじめ、多くの方々に心から感謝申し上げます。

平成16年3月31日

高槻市教育委員会　文化財課

課長　竹下守雄

例　　言

1．本書は、高槻市教育委員会が平成15年度国庫補助事業として計画、実施した高槻市所在の史跡・嶋上郡衙跡附寺跡周辺部及び市内遺跡の発掘調査事業（総額2,500,000円）の概要報告書である。

2．事業は、高槻市教育委員会の直営事業として実施し、大阪府教育委員会の助力を得て、平成15年５月７日に着手、平成16年３月31日に終了した。

3．調査は、高槻市教育委員会文化財課埋蔵文化財調査センターがおこなった。本書の執筆・図面作成・製図は、橋本久和、鐘ヶ江一朗、宮崎康雄、高橋公一、木曽広、西村恵祥がおこない、分担は文末に記した。遺構・遺物の写真撮影は清水良真が担当した。整理作業については以下の各氏から援助をうけた。厚く感謝する。

白銀良子、武村好子、西岡和江　　（順不同・敬称略）

4．調査の実施にあたり、以下に掲げる土地所有者の方々をはじめ、関係機関各位のご協力をいただいた。ここに記して感謝いたします。

大西宗、堂田和宏、佐藤力、山本真司、古杉りえ、中西鉄弘、梶村一太、山下幸雄、加藤重四郎、鈴木隆司、久世房夫、中地義一、西口陽一、増原永、増原なおみ、奥田孝史、細越隆幸、小薮浩士、三上輝広、芳山雄一、森廣智仁、木村暎子、千布和也、織谷茂雄、荒木康彰、河内裕司、辻康成、井上暢明、井上千明

（順不同・敬称略）

目　　次

Ⅰ　鴨　神　社　跡 …… 1
Ⅱ　郡家今城遺跡 …… 3
Ⅲ　中　城　遺　跡 …… 6
Ⅳ　宮之川原遺跡 …… 7
Ⅴ　慈願寺山遺跡 …… 8
Ⅵ　天　神　山　遺　跡 …… 9
Ⅶ　高　槻　城　跡 …… 9
Ⅷ　闘鶏山古墳規模確認調査 …… 15
Ⅸ　今城塚古墳規模確認調査 …… 16

No.	遺跡名（地区）	調査地	面積（㎡）	申請者
1	鴨神社跡（2003－1）	赤大路町358－2の一部	86.20	大西　宗
2	〃（2003－2）	赤大路町11－18	85.00	堂田和宏
3	〃（2003－3）	赤大路町11－14	85.00	佐藤　力
4	〃（2003－4）	赤大路町11－19	85.00	山本真司
5	〃（2003－5）	赤大路町11－23	86.25	古杉りえ
6	〃（2003－6）	赤大路町11－22他	86.25	中西鉄弘
7	郡家今城遺跡（2003－1）	郡家新町169－4	74.65	梶村一太
8	〃（2003－2）	氷室町一丁目781－15	111.13	山下幸雄
9	〃（2003－3）	氷室町一丁目781－9	89.37	加藤重四郎
10	〃（2003－4）	氷室町一丁目779－3	130.28	鈴木隆司
11	〃（2003－5）	氷室町一丁目781－14	104.02	久世房夫
12	〃（2003－6）	郡家新町169－1	75.74	梶村一太
13	〃（2003－7）	氷室町一丁目779－6	111.28	中地義一
14	中城遺跡（2003－1）	昭和台二丁目131－2	137.65	西口陽一
15	宮之川原遺跡（2003－1）	宮之川原元町886－4	45.10	増原　永・なおみ
16	慈願寺山遺跡（2003－1）	月見町28－90	292.66	奥田孝史
17	天神山遺跡（2003－1）	天神町二丁目931－17	149.90	細越隆幸
18	高槻城跡（2003－1）	城内町1015－27他	103.70	小薮浩士
19	〃（2003－2）	城内町1015－43	95.92	三上輝広
20	〃（2003－3）	城内町1015－28・36	84.66	芳山雄一
21	〃（2003－4）	野見町1225－17	72.34	森廣智仁
22	〃（2003－5）	出丸町994－10他	88.08	木村暎子
23	〃（2003－6）	城内町1015－40・44	66.85	千布和也
24	〃（2003－7）	八幡町1048－1	83.74	織谷茂雄
25	〃（2003－8）	城内町1015－31他	67.96	荒木康彰
26	〃（2003－9）	八幡町1048－21～23	84.71	河内裕司
27	〃（2003－10）	城内町1015－47	69.77	井上暢明・千明
28	〃（2003－11）	城内町1015－42他	100.00	辻　康成

平成15年度　市内遺跡調査一覧

Ⅰ．鴨神社跡

1．鴨神社跡（2003−1地区）の調査

調査地は高槻市赤大路町358−2番地の一部にあたり、小字は「鴨林」である。現状は宅地である。このたび個人住宅建設工事が計画されたため、工事立会を実施した。

図１　鴨神社跡調査位置図（1）

当該地は鴨神社の南側にあたり、参道をはさんだ東側の調査地(2000-A)では奈良から平安時代の柵列・溝・土坑などを検出している。

層序は暗黄褐色砂質シルト(盛土：1.0m)、赤褐色砂質シルト(0.1m)、明赤褐色シルト(地山)である。東側で上端に横木を伴い傾斜する落ち込みを検出した。現参道端から約3m西側の位置であり、平行していることから参道に関連する遺構と推測される。遺物は出土していないため時期は不明である。（西村）

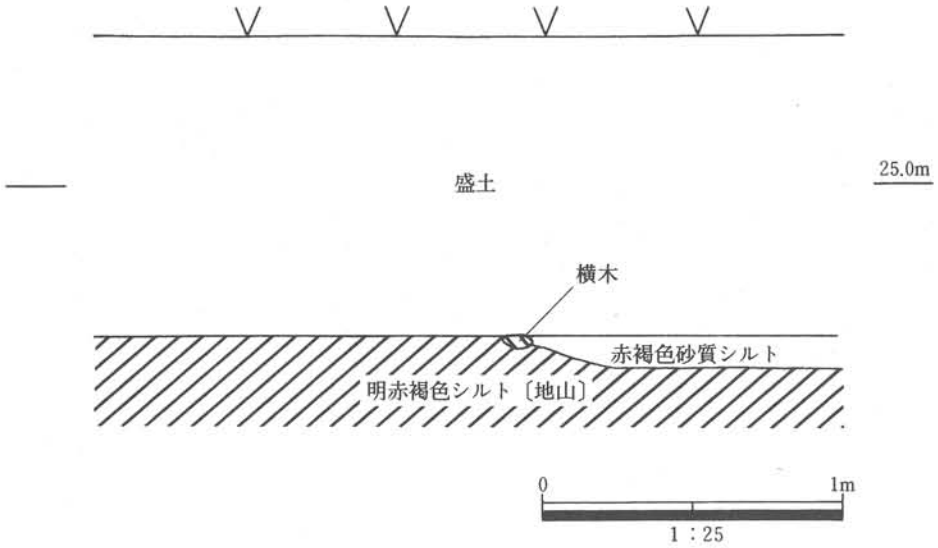


図２　鴨神社遺跡（2003-1）土層模式図

2．鴨神社跡（2003－2地区）の調査

調査地は高槻市赤大路町11－18番地にあたり、小字は「鴨林」である。現状は宅地である。

このたび、個人住宅建設計画に伴い、工事立会を実施した。厚さ0.7mの盛土を除去すると、地山と考えられる暗黄褐色土が広がる。遺構・遺物は検出されなかった。（木曽）

図3　鴨神社跡調査位置図（2）

3．鴨神社跡（2003－3地区）の調査

調査地は高槻市赤大路町11—14番地にあたり、小字は「鴨林」である。現状は宅地である。

このたび、個人住宅建設に伴い、工事立会を実施した。層序は盛土(0.65m)、暗黄褐色土〔地山〕である。遺構・遺物は検出されなかった。（木曽）

4．鴨神社跡（2003－4地区）の調査

調査地は高槻市赤大路町11—19番地にあたり、小字は「鴨林」である。現状は宅地である。

このたび、個人住宅建設に伴い、工事立会を実施した。層序は盛土(0.65m)、暗黄褐色土〔地山〕である。遺構・遺物は検出されなかった。（木曽）

5．鴨神社跡（2003－5地区）の調査

調査地は高槻市赤大路町11—23番地にあたり、小字は「鴨林」である。現状は宅地である。

このたび、個人住宅建設に伴い、工事立会を実施した。層序は盛土(0.7m)、暗黄褐色土〔地山〕である。遺構・遺物は検出されなかった。（木曽）

6．鴨神社跡（2003－6地区）の調査

調査地は高槻市赤大路町11—22番地にあたり、小字は「鴨林」である。現状は宅地である。

このたび、個人住宅建設に伴い、工事立会を実施した。層序は盛土(0.75m)、暗黄褐色土〔地山〕である。遺構・遺物は検出されなかった。（木曽）

Ⅱ．郡家今城遺跡

7．郡家今城遺跡（2003−1地区）の調査

調査地は高槻市郡家新町169−4にあたり、小字は「藤ケ本」である。現状は宅地である。当該地周辺は山陽道の推定地にあたる。このたび個人住宅建設工事が計画されたため、工事立会を実施した。

層序は暗黄褐色シルト（盛土：0.5m）、暗灰褐色砂質シルト（耕作土：0.14m）、灰褐色砂質シルト（地山：0.21m）、明灰褐色砂層（地山：0.17m）、赤褐色砂層・明灰褐色砂層の互層（地山：0.21m以上）である。遺構・遺物は検出されなかった。

（西村）

図4　郡家今城遺跡調査位置図（1）

8．郡家今城遺跡（2003−2地区）の調査

調査地は高槻市氷室町一丁目781−14番地にあたり、小字は「大河原」である。現状は宅地である。このたび、個人住宅建設に伴い、事前に調査を実施した。

調査は盛土等の除去後、精査及び土層の観察をおこなった。層序は盛土（0.9m）、耕作土（0.1m）、暗青灰色砂質土（0.1m）、黄灰褐色粘土〔地山〕である。遺構・遺物は検出されなかった。

（木曽）

図5　郡家今城遺跡調査位置図（2）

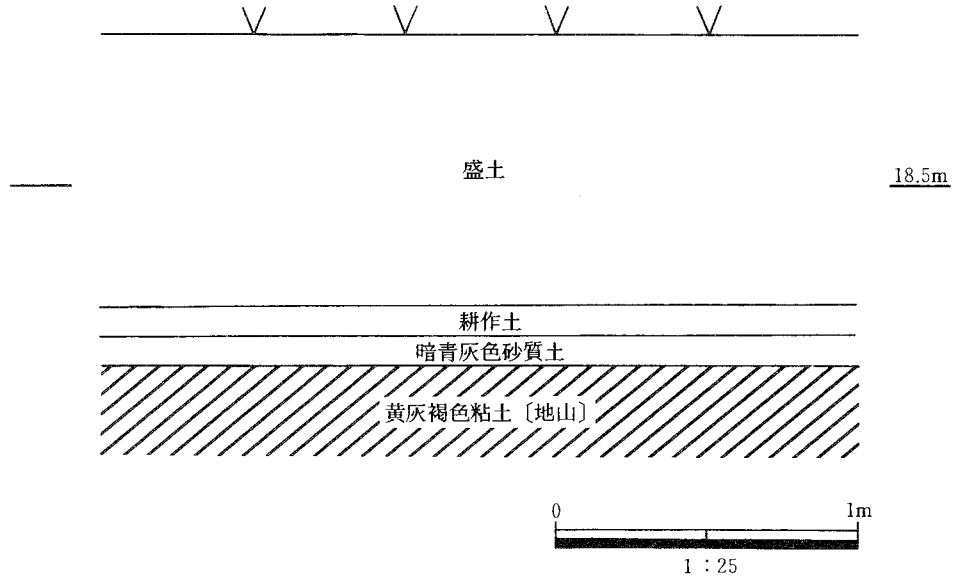


図6　郡家今城遺跡（2003-2）土層模式図

9．郡家今城遺跡（2003−3地区）の調査

調査地は高槻市氷室町一丁目781−9番地にあたり、小字は「下河原」である。現状は宅地である。このたび、個人住宅建設に伴い、事前に調査を実施した。

調査は盛土等の除去後、精査及び土層の観察をおこなった。層序は盛土(0.9m)、耕作土(0.1m)、暗青灰色砂質土(0.1m)、黄灰褐色粘土〔地山〕である。遺構・遺物は検出されなかった。

（木曽）

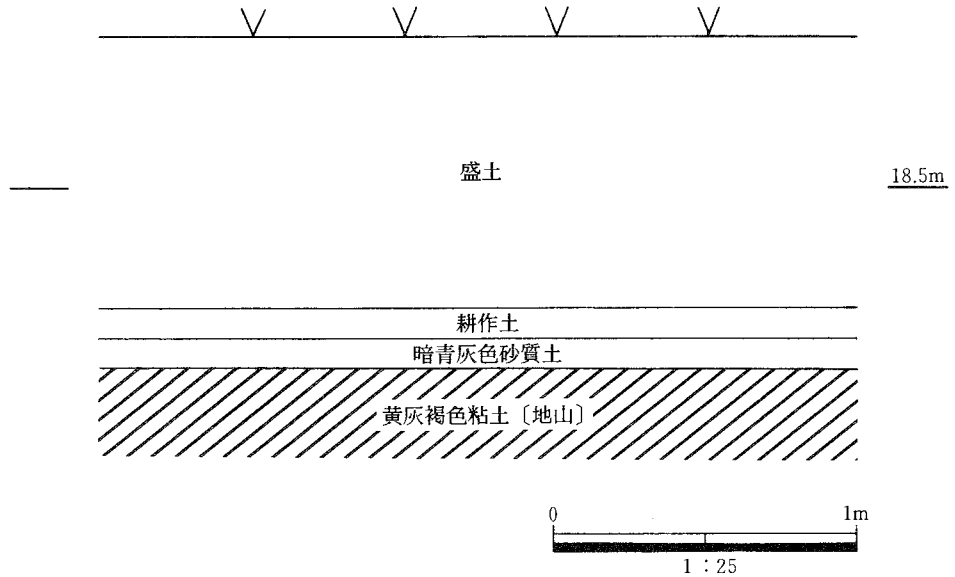


図7　郡家今城遺跡（2003-3）土層模式図

10. 郡家今城遺跡（2003−4地区）の調査

調査地は高槻市氷室町一丁目779−3番地にあたり、小字は「下河原」である。一帯は郡家今城遺跡の西縁部にあたり、遺構・遺物の希薄な地域である。今回の調査は個人住宅建設に先立つものである。基本的な層序は盛土(1.1m)、暗灰色粘質土(0.2m：旧耕作土)、黄灰色砂質土〔地山〕である。遺構・遺物は検出できなかった。（宮崎）

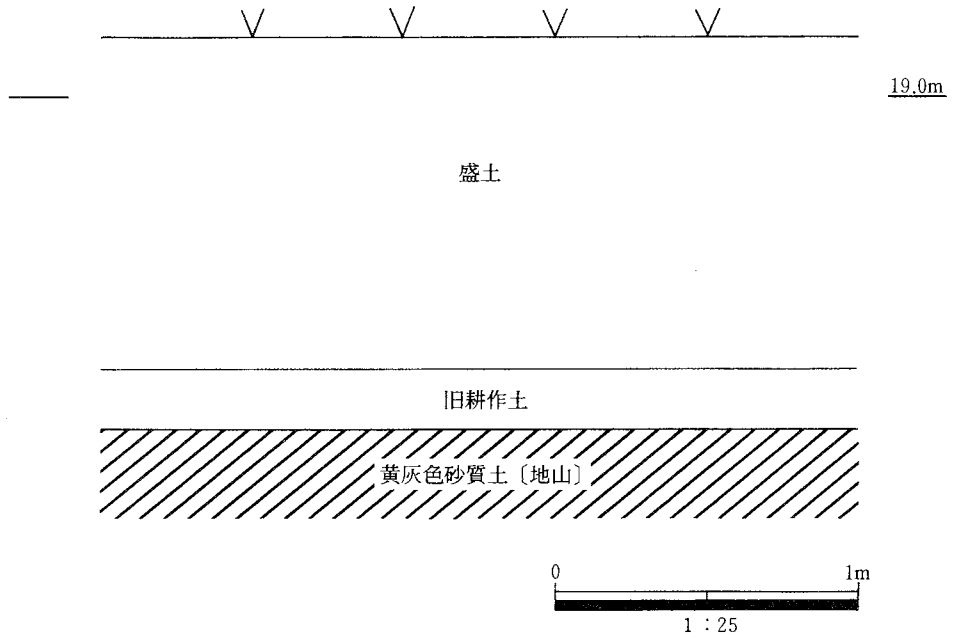


図8　郡家今城遺跡（2003-4）土層模式図

11. 郡家今城遺跡（2003−5地区）の調査

調査地は高槻市氷室町一丁目781-14番地にあたり、小字名は「下河原」である。現状は宅地で、個人住宅建設にともなって、工事立会を実施した。

層序は、盛土(0.7m)、耕作土(0.13m)、淡青灰砂質土(0.42m)、褐灰色粘土〔地山〕である。遺構・遺物は検出されなかった。（高橋）

12. 郡家今城遺跡（2003−6地区）の調査

調査地は高槻市郡家新町169−4番地にあたり、小字は「藤ヶ本」である。現状は宅地である。このたび、個人住宅建設に伴い、工事立会を実施した。

層序は盛土(0.2m)、暗灰色砂(0.15m)、黄灰色砂質土(0.25m)、暗褐色土(0.15m)、黄灰褐色土〔地山〕である。遺構・遺物は検出されなかった。（木曽）

13. 郡家今城遺跡（2003−7地区）の調査

調査地は高槻市氷室町１丁目779−6番地にあたり、小字は「下河原」である。現状は宅地である。このたび個人住宅建設工事が計画されたため、工事立会を実施した。

当該地は遺跡の西南部にあたり、周辺の調査では奈良から平安時代の建物・柵・井戸・土坑・溝などを、特に北側の調査地（H5−54、89−2）では東西に続く山陽道跡を検出している。層序はにぶい橙色砂質土（盛土：0.91m）、暗灰褐色粘質土（耕作土：0.23m）、灰褐色砂質シルト（床土：0.08m）、淡灰褐色砂層（地山：女瀬川氾濫層）である。遺構･遺物は検出されなかった。

（西村）

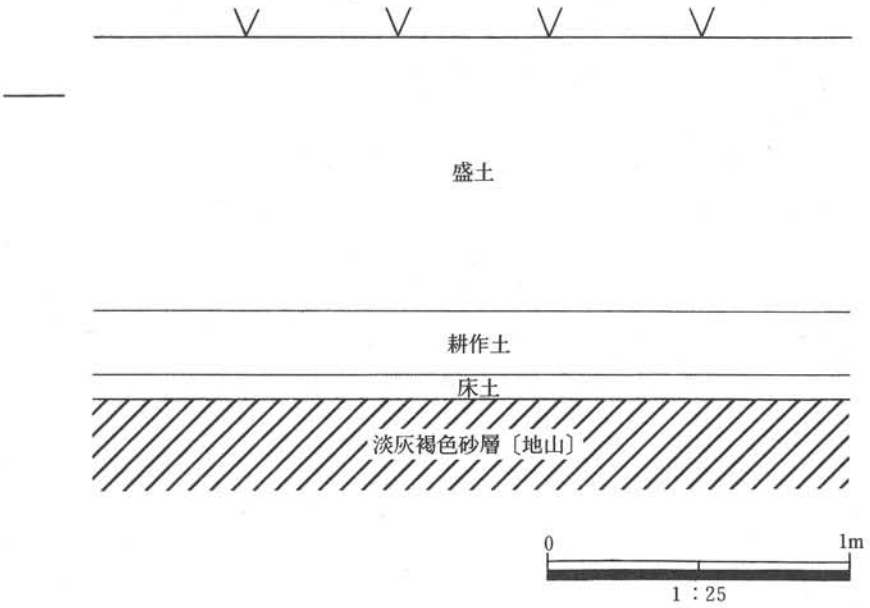


図９　郡家今城遺跡（2003-7）土層模式図

Ⅲ．中城遺跡

14. 中城遺跡（2003−1地区）の調査

調査地は高槻市昭和台二丁目131−2番地にあたり、小字名は「安房」と称する。現状は宅地である。このたび、個人住宅建設に伴って工事立会を実施した。

層序は盛土（0.2m）、黄灰色礫土〔地山〕である。遺構・遺物は検出されなかった。（木曽）

図10　中城遺跡（2003-1）調査位置図

Ⅳ．宮之川原遺跡

15．宮之川原遺跡（2003－1地区）の調査

調査地は高槻市宮之川原元町688－4番地にあたり、小字は「宮ヶ市」である。現状は宅地で、式内神服神社の西隣にあたる。

今回の調査は個人住宅建築に伴うもので、盛土等を除去後、遺構・遺物の検出に努めた。層序は盛土(0.6m)、黄灰色土(0.1m)、黄褐色粘土〔地山〕である。遺構・遺物は検出されなかった。（木曽）

図11　宮之川原遺跡（2003-１）調査位置図

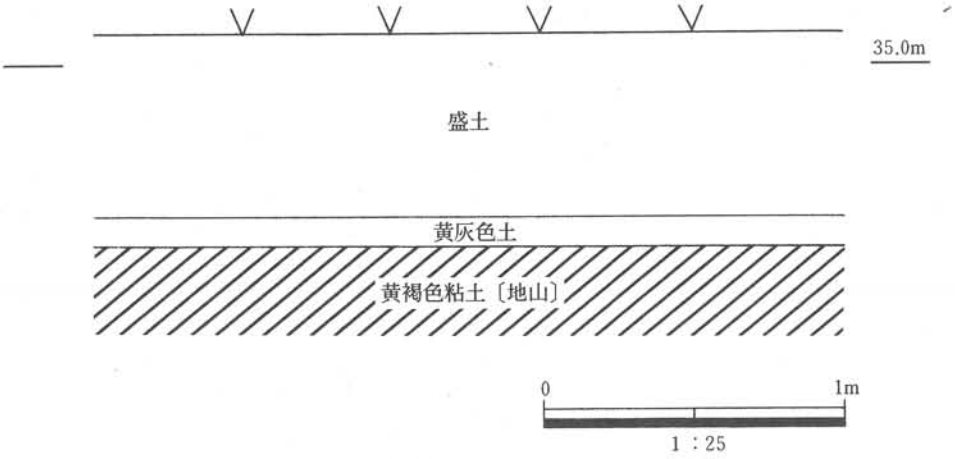


図12　宮之川原遺跡（2003-1）土層模式図

Ⅴ．慈願寺山遺跡

16．慈願寺山遺跡（2003−1地区）の調査

調査地は高槻市月見町28−90番地にあたり、小字は「東山」である。このたび個人住宅建設工事が計画されたため、工事立会を実施した。

当該地は慈願寺山の南斜面に位置し、周辺の調査では弥生中期の方形周溝墓や5世紀後半頃の古墳を検出しており、付近に弥生時代中期の集落が広がると推定されている。

層序は暗褐色砂質土(表土：0.14m)、褐色砂質土(盛土：0.95m以上)であり、東側が谷になっていることから造成に伴う盛土が厚く堆積している。遺構・遺物は検出されなかった。

（西村）

図13　慈願寺山遺跡（2003-１）調査位置図

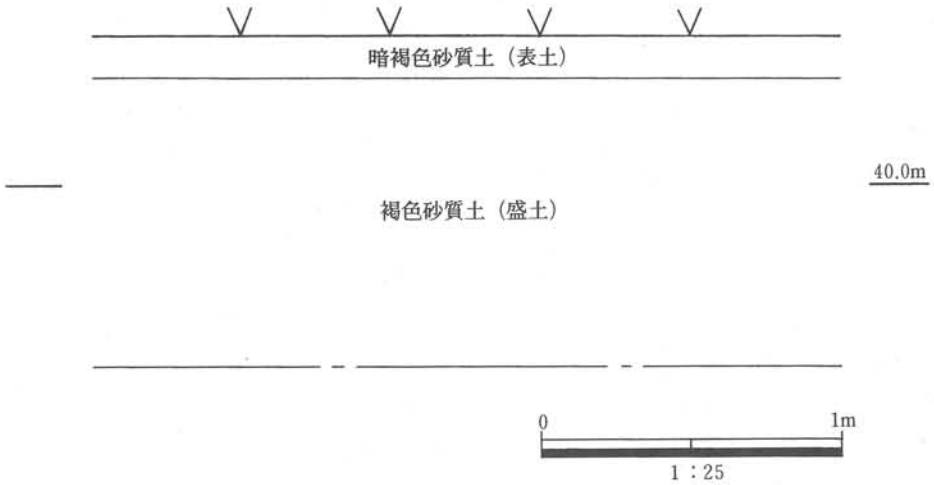


図14　慈願寺山遺跡（2003-1）土層模式図

Ⅵ．天神山遺跡

17．天神山遺跡（2003－1地区）の調査

調査地は高槻市天神町二丁目931－17番地にあたり、小字名は「天神山」である。現状は宅地である。このたび、個人住宅建設工事に伴い、工事立会を実施した。

当該地は高槻市街を望む丘陵上に位置し、はやくから宅地開発が行われている地域である。層序は盛土・整地土(0.2m)、黄灰色粘土〔地山〕である。遺構・遺物は検出されなかった。

（木曽）

図15　天神山遺跡（2003-１）調査位置図

Ⅶ．高槻城跡

18．高槻城跡（2003－1地区）の調査

調査地は高槻市城内町1015―27番地他にあたり、小字は「三之丸」である。今回の調査は個人住宅の建替えに伴うものである。当該地は近世高槻城三之丸の南外堀跡にあたるとされ、近隣地では外堀堆積土が確認されている。層序は暗黄褐色土(盛土：1.7m)、暗青灰色粘質土(旧耕作土：0.2 m)、暗灰色粘土である。この粘土層は外堀埋土(整地層)とみられるが、遺物は出土しなかった。

（宮崎）

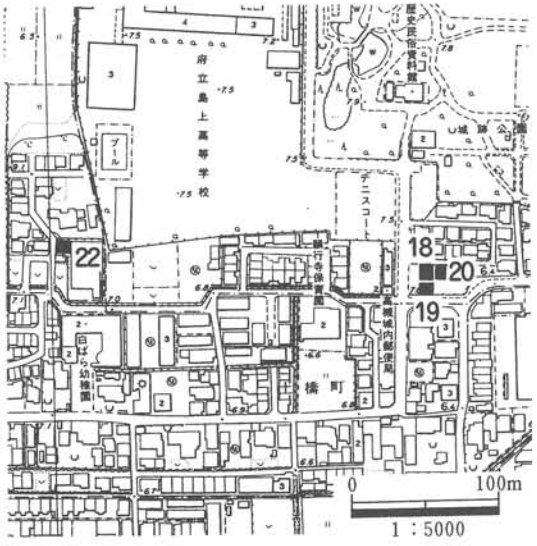


図16　高槻城跡調査位置図（1）

19．高槻城跡（2003－2地区）の調査

調査地は高槻市城内町1015―43番地にあたり、小字は「三之丸」である。現状は宅地である。このたび、個人住宅建設工事に伴い、工事立会を実施した。層序は盛土・整地土(0.9m)、黒青灰色粘土(旧耕作土：0.2m)、黒灰色粘土(0.9m以上：外堀堆積土)である。近世高槻城の外堀堆積土を確認したが、遺物は出土しなかった。（木曽）

20．高槻城跡（2003－3地区）の調査

調査地は高槻市城内町1015―28・36番地にあたり、小字は「三之丸」である。現状は宅地である。このたび、個人住宅建設工事に伴って工事立会を実施した。層序は盛土・整地土(0.9m)、黒青灰色粘土(旧耕作土：0.25m)、黒灰色粘土(0.8m以上)である。近世高槻城の外堀堆積土を確認したが、遺物は出土しなかった。（木曽）

21．高槻城跡（2003－4地区）の調査

調査地は高槻市野見町1225－17番地にあたり、小字は「不明ノ門」である。高槻城帯郭跡にあたり、現状は宅地である。このたび個人住宅建設工事が計画されたため、工事立会を実施した。当該地は暗褐色砂質土の盛土が1.0m以上認められたのみで、遺構・遺物は検出されなかった。（西村）

図17　高槻城跡調査位置図（2）

22．高槻城跡（2003－5地区）の調査

調査地は高槻市出丸町994－10・11・14番地にあたる。当該地は高槻城蔵屋敷跡の南端にあたり、小字は「帯曲輪」である。現状は宅地である。このたび個人住宅建設工事が計画されたため、工事立会を実施した。層序は明褐色砂質土(表土：0.36m)、灰黄褐色シルト(造成盛土：0.44m)、灰褐色シルト(造成盛土：0.22m)、灰褐色粘土(耕作土：0.08m)、暗灰褐色粘土(耕作土：0.40m以上)であり、地山には達しなかった。遺構・遺物は検出されなかった。（西村）

23．高槻城跡（2003－6地区）の調査

調査地は高槻市城内町1015－40・44番地にあたる。当該地は高槻城三ノ丸南大手門跡南側の外堀に位置し、小字は「三之丸」である。現状は宅地である。このたび個人住宅建設工事が計画されたため、工事立会を実施した。

立会地の層序は黒褐色砂質土（盛土：1.48m）、緑灰色粘土（外堀堆積土：0.24m以上）であり、堀底には達しなかった。遺構・遺物は検出されなかった。（西村）

図18　高槻城跡調査位置図（3）

24．高槻城跡（2003－7地区）の調査

調査地は高槻市八幡町1048―1番地にあたり、小字は「裏三之丸」である。現状は宅地であり、近世高槻城の外堀跡にあたる。このたび、個人住宅建設工事に伴って工事立会を実施した。層序は、盛土・整地土（0.3m）、青灰色粘土（0.25m）、褐色砂礫土（0.3m）、暗青灰色粘土（堆積土）である。青灰色粘土は近世高槻城の外堀堆積土とみられるが、遺物は検出されなかった。

（木曽）

25. 高槻城跡（2003－8地区）の調査

調査地は高槻市城内町1015－31・39・46・48番地にあたり、小字は「三之丸」である。当該地は高槻城三ノ丸南大手門跡南側の外堀に位置し、現状は宅地である。

このたび個人住宅建設工事が計画されたため、工事立会を実施した。層序は褐色砂質土（盛土：0.2m）、橙色砂質土（盛土：0.86m）、明灰褐色粘質土（外堀堆積土：0.11m）、暗灰褐色粘土（外堀堆積土：0.11以上）であり、堀底には達しなかった。遺物は検出されなかった。（西村）

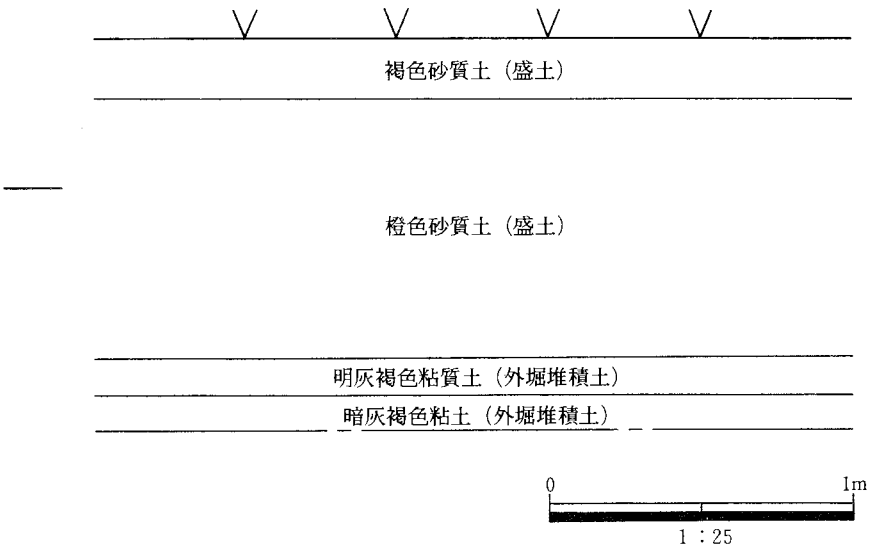


図19　高槻城跡（2003-8）土層模式図

26. 高槻城跡（2003−9地区）の調査

調査地は高槻市八幡町1048−21･22･23にあたり、小字は「裏三之丸」である。当該地は高槻城三ノ丸東郭跡東側の外堀にあたり、現状は宅地である。

このたび個人住宅建設工事が計画されたため、工事立会を実施した。層序は橙色砂質シルト（盛土：0.44m）、にぶい褐色砂質シルト（盛土：0.60m）、黒褐色粘土（外堀堆積土：0.62m以上）であり、堀底には達しなかった。遺構は検出されなかったが、遺物としては外堀堆積土から瓦が数点出土した。（西村）

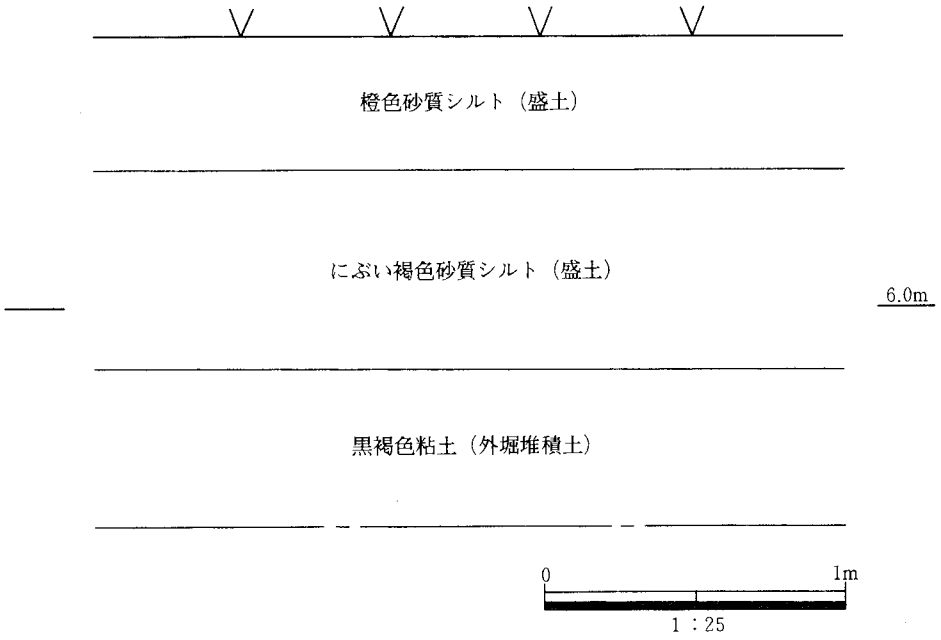


図20　高槻城跡（2003-9）土層模式図

27. 高槻城跡（2003－10地区）の調査

調査地は高槻市城内町1015－47・1015－49番地にあたり、小字は「三之丸」と称する。現状は宅地である。このたび、個人住宅建設工事が計画されたため、調査を実施した。

層序は黄色土による盛土(0.3m)、暗灰色土(0.1m)、黄褐色土[地山]である。暗灰色土は硬く締まった層で、最近の投棄物などがまじる。黄褐色土上面で精査したが遺構・遺物は検出されなかった。（橋本）

28. 高槻城跡（2003－11地区）の調査

調査地は高槻市城内町1015－42番地にあたり、小字は「三之丸」と称する。現状は宅地である。このたび、個人住宅建設工事が計画されたため、調査を実施した。

層序は黄色土による盛土(0.1m)、暗灰色土(0.3m)、黄褐色土[地山]である。暗灰色土には最近の投棄物などがまじる。黄褐色土上面を精査したが遺構・遺物は検出されなかった。（橋本）

Ⅷ. 闘鶏山古墳規模確認調査（第２次）

闘鶏山古墳は、平成14年の調査によって未盗掘の竪穴式石室２基をそなえた古墳時代前期（４世紀前半）の前方後円墳であることが明らかとなり、平成14年12月19日付けで国史跡の指定を受け、恒久的な保存が図られた。

今回の調査は、後円部と前方部の頂部形状の把握と祭祀痕跡の検出を目的として実施したもので、後円部墳頂についてはほぼ全面（370㎡）、これに連続する後円部と前方部をつなぐ斜面部及び前方部平坦面については幅4m長さ39mの調査区を設定し、部分的に拡張して実施した（合計167㎡）。調査の結果、後円部墳頂と前方部平坦面を覆う礫敷を検出するとともに、２つの竪穴式石室の墓壙掘形も確認し、外表施設及び内部主体の状況の一端が明らかとなった。

【礫　敷】 後円部墳頂では墳丘の遺存状況が良好な北西部分に、前方部平坦面では調査区のほぼ全面にわたり礫敷を検出した。

後円部礫敷は拳大以下の亜角礫を密集して敷いている。これらは第２主体の上部を覆う盛土の上面で検出しており、礫敷の設置時期は第２主体構築時とみられる。

前方部礫敷も拳大以下の亜角礫で、検出状況から前方部平坦面の全域に及ぶと考えられるが、前方部北半では密集度は高いのに対し、南部付近ではやや粗くなる傾向が認められる。この礫敷は、墳丘斜面に施した葺石よりも小さいことから、葺石とは一連のものではなく、性格も敷設時期も異なる可能性が高い。

【墓　壙】 後円部墳頂において、第１主体及び第２主体の両竪穴式石室の墓壙掘形を検出した。

第１主体墓壙は、後円部墳頂中央の大半を覆うように存在する。しかし、礫敷を伴う盛土が存在する西北部では検出できず、これ以外の東辺部南半から東南隅部及び西南隅部と、土層断面で確認した北辺の一部を検出することができた。規模は南北14.5m、東西10～11mで、掘り込み角度は約43度を測る。

第２主体墓壙は墳頂の西北に位置する。墓壙直上に礫敷を伴う盛土がなされたため、西辺部南半から西南隅部と、土層断面で確認した北辺の一部の検出にとどまるが、前回調査の成果とあわせて、規模は南北8m、東西5mに復元できる。掘り込み角度は約60度である。

【まとめ】 今回、２つの石室の墓壙規模が判明したことは非常に重要であり、今後の調査及び整備について、大きな指針となる。また、前方部平坦面の礫敷が古墳構築のどの段階で敷設されたのかは不明であり、今後の課題である。

なお、古墳をめぐる環境を総合的に判断するための保存環境調査をあわせて実施した。石室内の温湿度、墳丘内の温度・水分を測定するセンサーを設置し、気象データとともに継続して記録しており、本年度以降長期的な視野での観測・観察をおこなっていく予定である。（高橋）

Ⅸ．今城塚古墳規模確認調査（第７次）

今城塚古墳は６世紀前半に築造された淀川流域最大の前方後円墳である。昭和33年２月に史跡指定を受け、平成９年度から同古墳の保存整備に必要な各部分のデータを得るため、規模確認調査を実施している。今年度の第７次規模確認調査は、昨年度に検出した造出と南北くびれ部の遺存状況、後円部の形状や遺存状況を把握するために数カ所の調査区を設定して実施した。

調査の結果

後円部ではテラスと葺石・円筒埴輪列、排水溝などを検出した。テラスは幅約4.5ｍをはかり、外縁より１ｍ内側では円筒埴輪列が巡る。葺石は径50cm前後の川原石を40～50°で1.1ｍ前後に、その上方は小振りの川原石を約16°で積み上げていた。排水溝は後円部南東側のテラスで検出したもので、葺石裾よりさらに突きだしていた。各面とも平坦な石を用いて断面方形に組み、内法は高さ・幅とも約0.25ｍである。葺石の上側では幅・奥行きとも3.5ｍ以上の平坦面が広がり、内濠側に向かってわずかに下降する。この平坦面上からは石棺片（二上山産白石）が遊離した状態で出土した。

くびれ部は南北ともに地震による墳丘の崩壊土の下に埋もれた状態にあり、本来の盛土はすでに流出していた。造出との狭隘部は内濠に向かって開く溝状となり、底面は墳丘から内濠へゆるやかに下降する。南側くびれ部付近では蓋形埴輪が出土した。

造出は南北にあり、南造出を初めて確認した。地山を削りだした基底部分が原形をとどめ、裾には径0.2～0.6cmの川原石を用いた護岸列石が巡る。埋土からは円筒埴輪や須恵器の小片が出土した。

まとめ

今城塚古墳の主体部に関しては、横穴式石室の可能性が高いと考えられていたが、後円部テラスで検出した排水溝は主体部に直接関わる遺構と考えられ、この上段の平坦面は横穴式石室の前庭部に相当するとみられる。後円部では葺石やテラス、円筒埴輪列などを初めて検出し、墳丘が２段築成であったことが判明した。墳丘は基底面の裾が100ｍであるのに対し、２段目の径は葺石裾で約72ｍ、テラス外縁で約80ｍに復原できる。

くびれ部は基底部分の南北間距離が約52ｍをはかることが判明した。くびれ部からやや前方部よりに設えた造出は、これまで墳丘北側にのみ存在すると考えられていたが、今回の調査で南北両側に築かれていたことが判明した。ただ、中期古墳において主要な埴輪祭祀の場である造出には形象埴輪がなく、須恵器などがみられることから、これらを中心とした祭祀が行われていたと考えられる。（宮崎）

抄　　録

フリガナ	シマガミイセキグン
書名	嶋上遺跡群
副書名	
巻次	28
シリーズ名	高槻市文化財調査概要
シリーズ番号	31
編集者名	橋本久和　鐘ヶ江一朗　宮崎康雄　高橋公一　木曽広　清水良真　西村恵祥
編集機関	高槻市教育員会文化財課埋蔵文化財調査センター
所在地	大阪府高槻市南平台五丁目21－1
発行年月日	2004年3月

フリガナ 所収遺跡名		カモジンジャ 鴨神社跡（2003-1）				
フリガナ 所在地		オオサカフ タカツキシ アカオオジチョウ 大阪府高槻市赤大路町358－2の一部				
コード		北緯	東経	調査期間	調査面積	調査原因
市町村	遺跡番号	34° 50′ 06″	135° 35′ 14″	20030609	7m²	個人住宅 建設工事
27207	132					
所収遺跡名	種別	時代	主な遺構	主な遺物		特記事項
鴨神社	集落	奈良・平安				

フリガナ 所収遺跡名		カモジンジャ 鴨神社跡（2003-2）				
フリガナ 所在地		オオサカフ タカツキシ アカオオジチョウ 大阪府高槻市赤大路町11－18				
コード		北緯	東経	調査期間	調査面積	調査原因
市町村	遺跡番号	34° 50′ 08″	135° 35′ 13″	20030812	立会	個人住宅 建設工事
27207	132					
所収遺跡名	種別	時代	主な遺構	主な遺物		特記事項
鴨神社	集落	奈良・平安				

フリガナ 所収遺跡名		カモジンジャ 鴨神社跡（2003-3）				
フリガナ 所在地		オオサカフ タカツキシ アカオオジチョウ 大阪府高槻市赤大路町11－14				
コード		北緯	東経	調査期間	調査面積	調査原因
市町村	遺跡番号	34° 50′ 06″	135° 35′ 13″	20030813	立会	個人住宅 建設工事
27207	132					
所収遺跡名	種別	時代	主な遺構	主な遺物		特記事項
鴨神社	集落	奈良・平安				

フリガナ 所収遺跡名		カモジンジャ 鴨神社跡（2003-4）				
フリガナ 所在地		オオサカフ タカツキシ アカオオジチョウ 大阪府高槻市赤大路町11－19				
コード		北緯	東経	調査期間	調査面積	調査原因
市町村	遺跡番号	34° 50′ 09″	135° 35′ 13″	20030822	立会	個人住宅 建設工事
27207	132					
所収遺跡名	種別	時代	主な遺構	主な遺物		特記事項
鴨神社	集落	奈良・平安				

フリガナ 所収遺跡名		カモジンジャ 鴨神社跡（2003-5）				
フリガナ 所　在　地		オオサカフ タカツキシ アカオオジチョウ 大阪府高槻市赤大路町11－23				
コ　ー　ド		北　緯	東　経	調査期間	調査面積	調査原因
市町村	遺跡番号	34° 50′ 08″	135° 35′ 13″	20030930	立　会	個人住宅 建設工事
27207	132					
所収遺跡名	種　別	時　代	主　な　遺　構	主　な　遺　物		特記事項
鴨神社	集　落	奈良・平安				

フリガナ 所収遺跡名		カモジンジャ 鴨神社跡（2003-6）				
フリガナ 所　在　地		オオサカフ タカツキシ アカオオジチョウ 大阪府高槻市赤大路町11－22他				
コ　ー　ド		北　緯	東　経	調査期間	調査面積	調査原因
市町村	遺跡番号	34° 50′ 08″	135° 35′ 13″	20031001	立　会	個人住宅 建設工事
27207	132					
所収遺跡名	種　別	時　代	主　な　遺　構	主　な　遺　物		特記事項
鴨神社	集　落	奈良・平安				

フリガナ 所収遺跡名		グンゲイマシロ 郡家今城遺跡（2003-1）				
フリガナ 所　在　地		オオサカフ タカツキシ グンゲシンマチ 大阪府高槻市郡家新町169－4				
コ　ー　ド		北　緯	東　経	調査期間	調査面積	調査原因
市町村	遺跡番号	34° 50′ 43″	135° 36′ 06″	20030520 ～ 20030523	2 m²	個人住宅 建設工事
27207	42					
所収遺跡名	種　別	時　代	主　な　遺　構	主　な　遺　物		特記事項
郡家今城	集　落	奈良・平安				

フリガナ 所収遺跡名		グンゲイマシロ 郡家今城遺跡（2003-2）				
フリガナ 所　在　地		オオサカフ タカツキシ ヒムロチョウイチチョウメ 大阪府高槻市氷室町一丁目781－15				
コ　ー　ド		北　緯	東　経	調査期間	調査面積	調査原因
市町村	遺跡番号	34° 50′ 35″	135° 35′ 53″	20030611 ～ 20030612	4 m²	個人住宅 建設工事
27207	42					
所収遺跡名	種　別	時　代	主　な　遺　構	主　な　遺　物		特記事項
郡家今城	集　落	奈良・平安				

フリガナ 所収遺跡名		グンゲイマシロ 郡家今城遺跡（2003-3）				
フリガナ 所　在　地		オオサカフ タカツキシ ヒムロチョウイチチョウメ 大阪府高槻市氷室町一丁目781－9				
コ　ー　ド		北　緯	東　経	調査期間	調査面積	調査原因
市町村	遺跡番号	34° 50′ 34″	135° 35′ 52″	20030619 ～ 20030623	4 m²	個人住宅 建設工事
27207	42					
所収遺跡名	種　別	時　代	主　な　遺　構	主　な　遺　物		特記事項
郡家今城	集　落	奈良・平安				

フリガナ 所収遺跡名		グンゲイマシロ 郡家今城遺跡（2003-4）				
フリガナ 所在地		オオサカフ タカツキシ ヒムロチョウイチチョウメ 大阪府高槻市氷室町一丁目779－3				
コード		北緯	東経	調査期間	調査面積	調査原因
市町村	遺跡番号	34° 50′ 37″	135° 35′ 52″	20030626 20030630	4 m²	個人住宅 建設工事
27207	42					
所収遺跡名	種別	時代	主な遺構	主な遺物		特記事項
郡家今城	集落	奈良・平安				

フリガナ 所収遺跡名		グンゲイマシロ 郡家今城遺跡（2003-5）				
フリガナ 所在地		オオサカフ タカツキシ ヒムロチョウイチチョウメ 大阪府高槻市氷室町一丁目769－6				
コード		北緯	東経	調査期間	調査面積	調査原因
市町村	遺跡番号	34° 50′ 35″	135° 35′ 54″	20030714	立会	個人住宅 建設工事
27207	42					
所収遺跡名	種別	時代	主な遺構	主な遺物		特記事項
郡家今城	集落	奈良・平安				

フリガナ 所収遺跡名		グンゲイマシロ 郡家今城遺跡（2003-6）				
フリガナ 所在地		オオサカフ タカツキシ グンゲシンマチ 大阪府高槻市郡家新町169－1				
コード		北緯	東経	調査期間	調査面積	調査原因
市町村	遺跡番号	34° 50′ 43″	135° 36′ 06″	20030828	立会	個人住宅 建設工事
27207	42					
所収遺跡名	種別	時代	主な遺構	主な遺物		特記事項
郡家今城	集落	奈良・平安				

フリガナ 所収遺跡名		グンゲイマシロ 郡家今城遺跡（2003-7）				
フリガナ 所在地		オオサカフ タカツキシ ヒムロチョウイチチョウメ 大阪府高槻市氷室町一丁目779－6				
コード		北緯	東経	調査期間	調査面積	調査原因
市町村	遺跡番号	34° 50′ 38″	135° 35′ 53″	20031020	立会	個人住宅 建設工事
27207	42					
所収遺跡名	種別	時代	主な遺構	主な遺物		特記事項
郡家今城	集落	奈良・平安				

フリガナ 所収遺跡名		チュウジョウ 中城遺跡（2003-1）				
フリガナ 所在地		オオサカフ タカツキシ キタショウワダイチョウニチョウメ 大阪府高槻市昭和台町二丁目131－2				
コード		北緯	東経	調査期間	調査面積	調査原因
市町村	遺跡番号	34° 49′ 29″	135° 35′ 24″	20030820	立会	個人住宅 建設工事
27207	47					
所収遺跡名	種別	時代	主な遺構	主な遺物		特記事項
中城	集落	中世				

フリガナ 所収遺跡名		ミヤノカワラ 宮之川原遺跡（2003-1）				
フリガナ 所在地		オオサカフ タカツキシ ミヤノカワラモトマチ 大阪府高槻市宮之川原元町886－4				
コード		北緯	東経	調査期間	調査面積	調査原因
市町村	遺跡番号	34° 51′ 48″	135° 36′ 08″	20030912	立会	個人住宅 建設工事
27207	57					
所収遺跡名	種別	時代	主な遺構	主な遺物		特記事項
宮之川原	集落	古墳				

フリガナ 所収遺跡名		シガンジヤマ 慈願寺山遺跡（2003-1）				
フリガナ 所在地		オオサカフ タカツキシ ツキミチョウ 大阪府高槻市月見町28－90				
コード		北緯	東経	調査期間	調査面積	調査原因
市町村	遺跡番号	34° 51′ 19″	135° 36′ 56″	20030819	立会	個人住宅 建設工事
27207	66					
所収遺跡名	種別	時代	主な遺構	主な遺物		特記事項
慈願寺山	集落	弥生				

フリガナ 所収遺跡名		テンジンヤマ 天神山遺跡（2003-1）				
フリガナ 所在地		オオサカフ タカツキシ テンジンチョウニチョウメ 大阪府高槻市天神町二丁目931－17				
コード		北緯	東経	調査期間	調査面積	調査原因
市町村	遺跡番号	34° 51′ 13″	135° 37′ 02″	20030507 ～ 20030514	10m²	個人住宅 建設工事
27207	70					
所収遺跡名	種別	時代	主な遺構	主な遺物		特記事項
天神山	集落	弥生				

フリガナ 所収遺跡名		タカツキジョウ 高槻城跡（2003-1）				
フリガナ 所在地		オオサカフ タカツキシ ジョウナイチョウ 大阪府高槻市城内町1015－27他				
コード		北緯	東経	調査期間	調査面積	調査原因
市町村	遺跡番号	34° 50′ 18″	135° 37′ 31″	20030527 ～ 20030530	3 m²	個人住宅 建設工事
27207	85					
所収遺跡名	種別	時代	主な遺構	主な遺物		特記事項
高槻城	城跡	中世・近世				

フリガナ 所収遺跡名		タカツキジョウ 高槻城跡（2003-2）				
フリガナ 所在地		オオサカフ タカツキシ ジョウナイチョウ 大阪府高槻市城内町1015－43				
コード		北緯	東経	調査期間	調査面積	調査原因
市町村	遺跡番号	34° 50′ 18″	135° 37′ 31″	20030602 ～ 20030603	4 m²	個人住宅 建設工事
27207	85					
所収遺跡名	種別	時代	主な遺構	主な遺物		特記事項
高槻城	城跡	中世・近世				

フリガナ 所収遺跡名		タカツキジョウ 高槻城跡（2003-3）				
フリガナ 所　在　地		オオサカフ タカツキシ ジョウナイチョウ 大阪府高槻市城内町1015－28・36				
コ　ー　ド		北　緯	東　経	調査期間	調査面積	調査原因
市町村	遺跡番号	34° 50′ 18″	135° 37′ 32″	20030604 ～ 20030606	4 m²	個人住宅 建設工事
27207	85					
所収遺跡名	種　別	時　代	主　な　遺　構		主　な　遺　物	特記事項
高槻城	城　跡	中世・近世				

フリガナ 所収遺跡名		タカツキジョウ 高槻城跡（2003-4）				
フリガナ 所　在　地		オオサカフ タカツキシ ノミチョウ 大阪府高槻市野見町443－16				
コ　ー　ド		北　緯	東　経	調査期間	調査面積	調査原因
市町村	遺跡番号	34° 50′ 28″	135° 37′ 23″	20030908	立　会	個人住宅 建設工事
27207	85					
所収遺跡名	種　別	時　代	主　な　遺　構		主　な　遺　物	特記事項
高槻城	城　跡	中世・近世				

フリガナ 所収遺跡名		タカツキジョウ 高槻城跡（2003-5）				
フリガナ 所　在　地		オオサカフ タカツキシ デマルチョウ 大阪府高槻市出丸町994－10・11・14				
コ　ー　ド		北　緯	東　経	調査期間	調査面積	調査原因
市町村	遺跡番号	34° 50′ 18″	135° 37′ 23″	20030916	立　会	個人住宅 建設工事
27207	85					
所収遺跡名	種　別	時　代	主　な　遺　構		主　な　遺　物	特記事項
高槻城	城　跡	中世・近世				

フリガナ 所収遺跡名		タカツキジョウ 高槻城跡（2003-6）				
フリガナ 所　在　地		オオサカフ タカツキシ ジョウナイチョウ 大阪府高槻市城内町1015－40・44				
コ　ー　ド		北　緯	東　経	調査期間	調査面積	調査原因
市町村	遺跡番号	34° 50′ 18″	135° 37′ 31″	20030922	立　会	個人住宅 建設工事
27207	85					
所収遺跡名	種　別	時　代	主　な　遺　構		主　な　遺　物	特記事項
高槻城	城　跡	中世・近世				

フリガナ 所収遺跡名		タカツキジョウ 高槻城跡（2003-7）				
フリガナ 所　在　地		オオサカフ タカツキシ ヤワタチョウ 大阪府高槻市八幡町1048－1				
コ　ー　ド		北　緯	東　経	調査期間	調査面積	調査原因
市町村	遺跡番号	34° 50′ 20″	135° 37′ 38″	20031007	立　会	個人住宅 建設工事
27207	85					
所収遺跡名	種　別	時　代	主　な　遺　構		主　な　遺　物	特記事項
高槻城	城　跡	中世・近世				

フリガナ 所収遺跡名		タカツキジョウ 高槻城跡（2003-8）				
フリガナ 所在地		オオサカフ タカツキシ ジョウナイチョウ 大阪府高槻市城内町1015－31・39・46・48				
コード		北緯	東経	調査期間	調査面積	調査原因
市町村	遺跡番号	34° 50′ 18″	135° 37′ 33″	20031202 ～ 20031205	4 m²	個人住宅 建設工事
27207	85					
所収遺跡名	種別	時代	主な遺構	主な遺物		特記事項
高槻城	城跡	中世・近世				

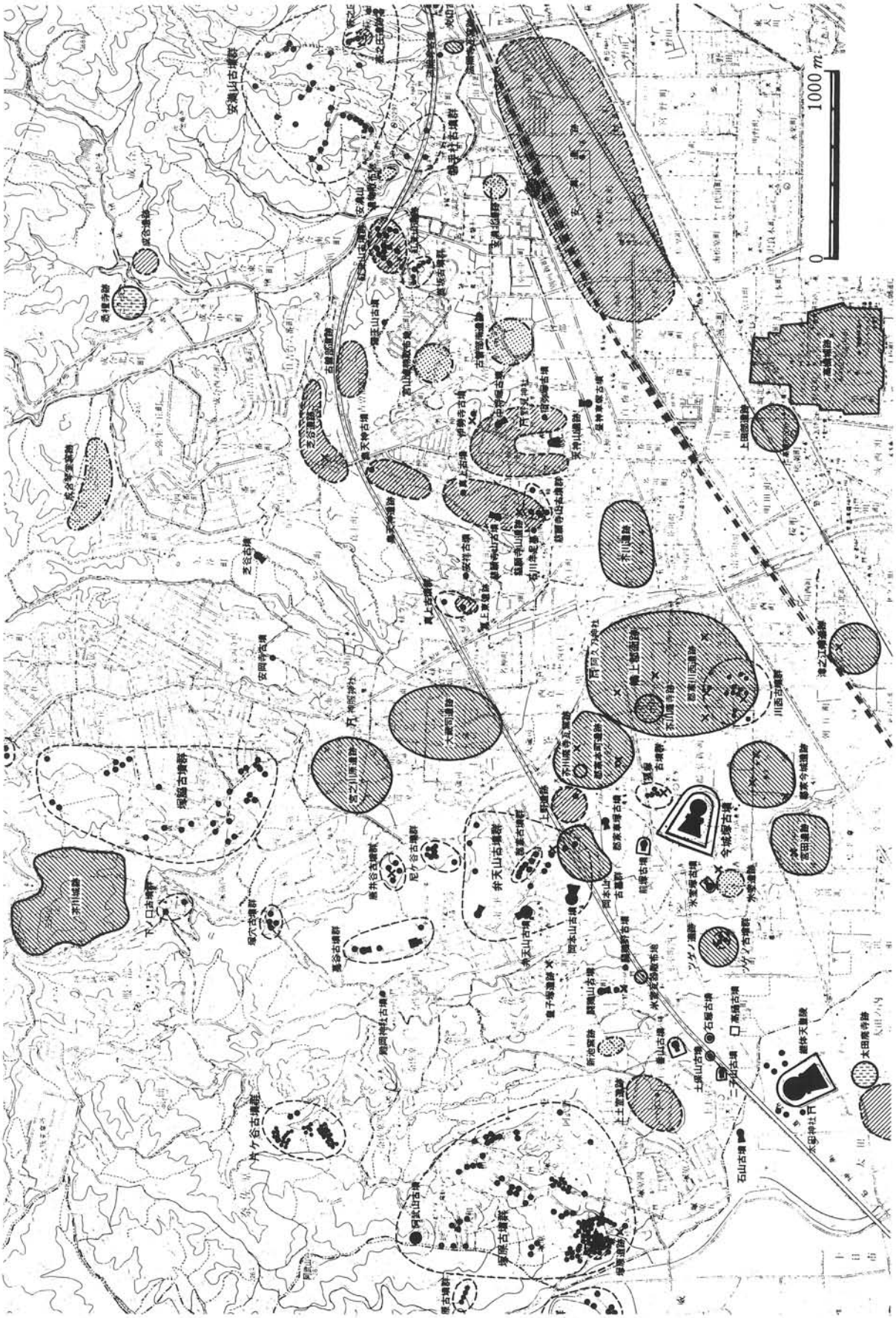
フリガナ 所収遺跡名		タカツキジョウ 高槻城跡（2003-9）				
フリガナ 所在地		オオサカフ タカツキシ ヤワタチョウ 大阪府高槻市八幡町1048－21～23				
コード		北緯	東経	調査期間	調査面積	調査原因
市町村	遺跡番号	34° 50′ 20″	135° 37′ 38″	20031222 ～ 20031226	4 m²	個人住宅 建設工事
27207	85					
所収遺跡名	種別	時代	主な遺構	主な遺物		特記事項
高槻城	城跡	中世・近世				

フリガナ 所収遺跡名		タカツキジョウ 高槻城跡（2003-10）				
フリガナ 所在地		オオサカフ タカツキシ ジョウナイチョウ 大阪府高槻市城内町1015－47				
コード		北緯	東経	調査期間	調査面積	調査原因
市町村	遺跡番号	34° 50′ 18″	135° 37′ 33″	20040106 ～ 20040109	3 m²	個人住宅 建設工事
27207	85					
所収遺跡名	種別	時代	主な遺構	主な遺物		特記事項
高槻城	城跡	中世・近世				

フリガナ 所収遺跡名		タカツキジョウ 高槻城跡（2003-11）				
フリガナ 所在地		オオサカフ タカツキシ ジョウナイチョウ 大阪府高槻市城内町1015－42他				
コード		北緯	東経	調査期間	調査面積	調査原因
市町村	遺跡番号	34° 50′ 20″	135° 37′ 38″	20040113 ～ 20040116	3 m²	個人住宅 建設工事
27207	85					
所収遺跡名	種別	時代	主な遺構	主な遺物		特記事項
高槻城	城跡	中世・近世				

図　　版

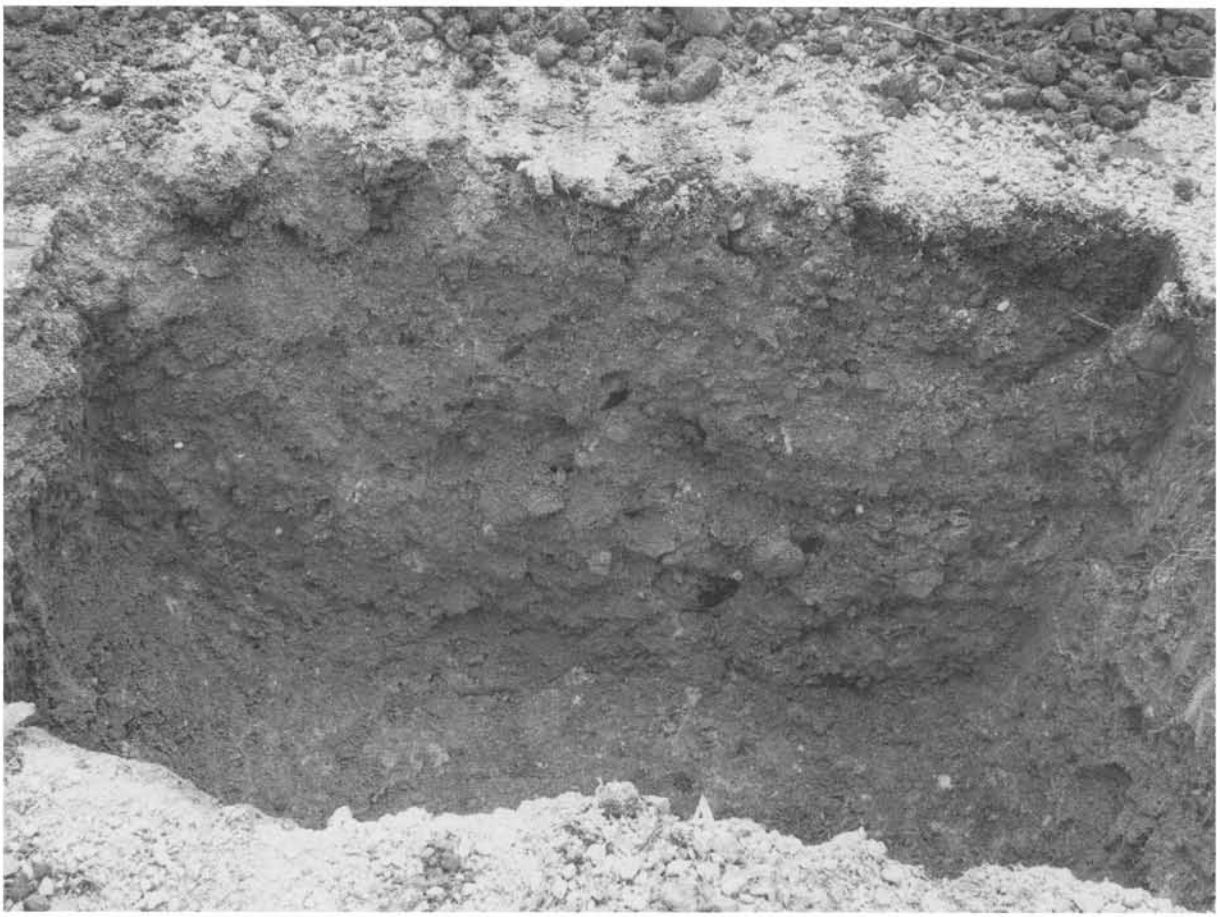
図版第1



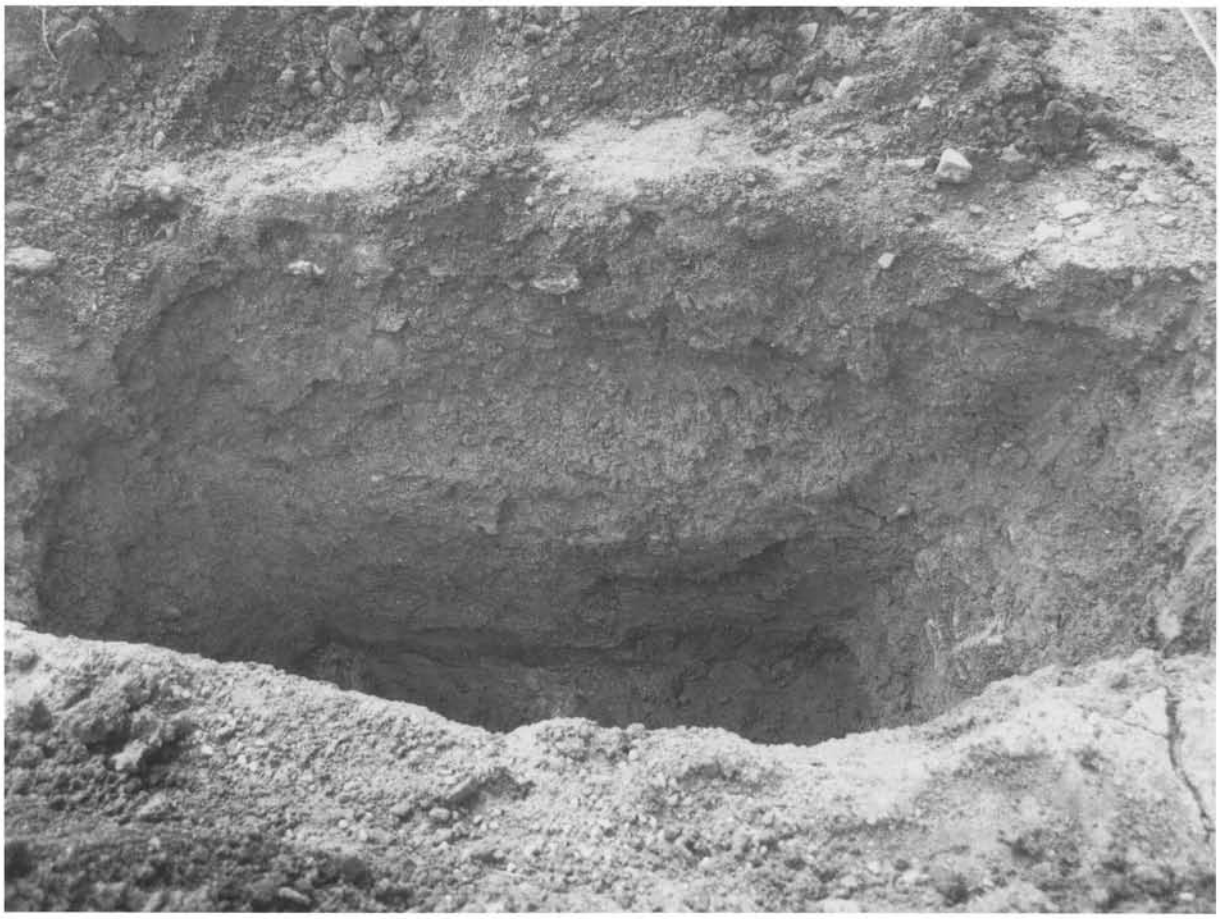
嶋上郡衙跡とその周辺

a. 鴨神社跡（2003−1）

b. 郡家今城遺跡（2003−7）



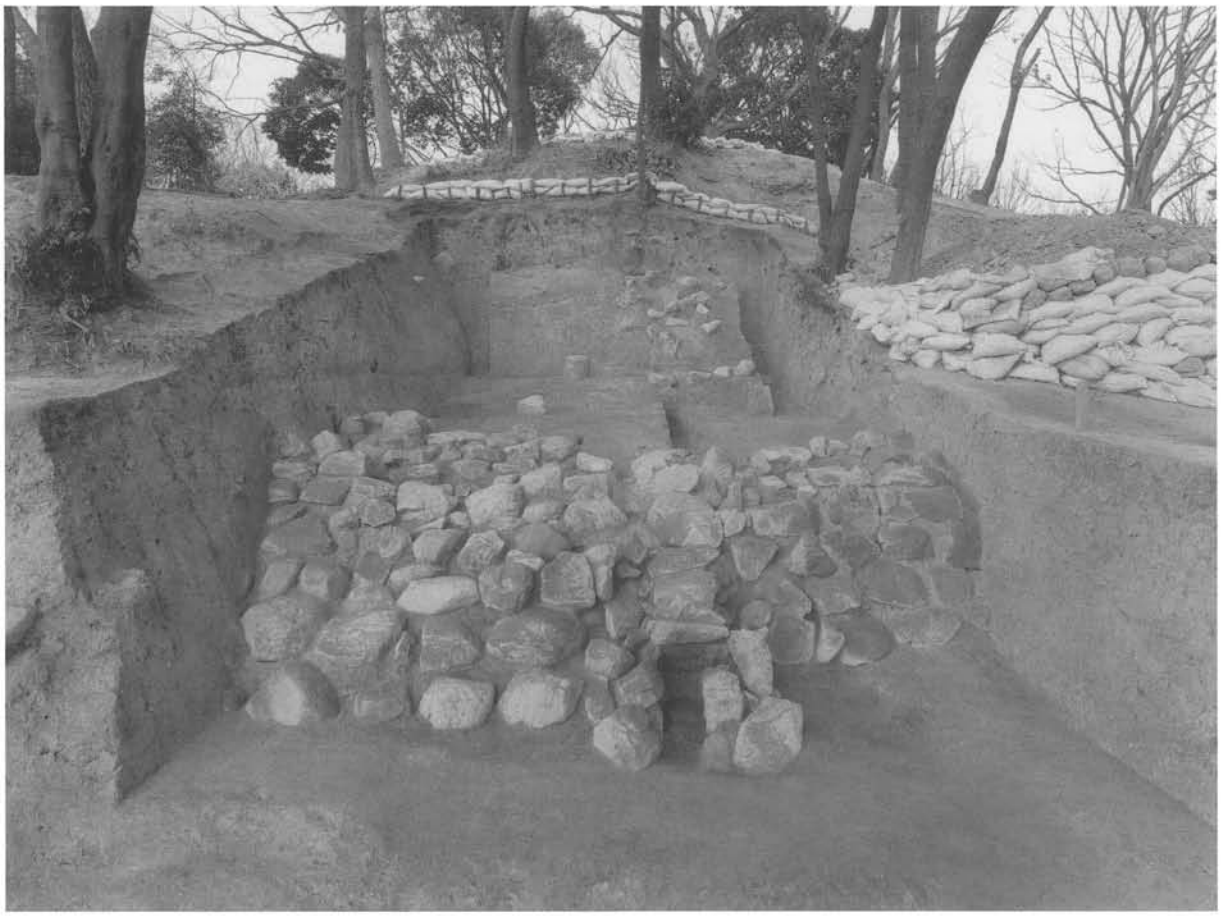
a. 慈願寺山遺跡（2003−1）



b. 高槻城跡（2003−8）

a. 闘鶏山古墳　後円部墳頂全景（北側から）

b. 闘鶏山古墳　前方部礫敷検出状況（東南側から）



a. 今城塚古墳　後円部葺石と排水溝（東側から）

b. 今城塚古墳　後円部と南造出（南東側から）

高槻市文化財調査概要 31

嶋上遺跡群 28

平成 16 年 3 月 31 日

発　行　高槻市教育委員会
文化財課　埋蔵文化財調査センター
高槻市南平台五丁目21番1号

印　刷　株式会社　邦文社
大阪市東淀川区大桐1丁目4番9号